

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多額 の経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]	
1	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防事務に要する経費			①災害活動に必要な装備品及び資機材の整備、消防被服の貸与 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため事業廃止はできない。また、職員の高齢化を勘案すると計画的な資機材整備を継続する必要がある。	44,367	97,195	6精査・検証	①市民の安心、安全な生活を守るための消防活動には消耗品、装備品、資機材は必要不可欠である。 ②災害件数の増加及び訓練による消耗を勘案し、平素から費用削減に取り組んでいるが、円滑な業務遂行を維持しつつ、今後も引き続き継続した費用削減を図る。	106,902	
2	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防庁舎の管理運営に要する経費			①消防庁舎各種設備の保守管理業務委託 ②消防施設機器の管理及び良好な職場環境の保持は、消防活動拠点の機能維持に必要であり継続する必要がある。	7,349	9,077	6精査・検証	①消防の任務遂行のため、消防庁舎機能の保持は必要不可欠である。 ②継続的に保守点検を実施し、経費の対価費用を勘案し維持管理に努める。	10,168	
3	一般	9	1	1	234消防力の強化	職員研修に要する経費		○	①消防大学校、消防学校、救急救命士研修所、各種技能講習所への派遣 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため事業廃止はできない。また、専門知識や技術を得るため、計画的に継続する必要がある。	4,364	2,584	6精査・検証	①専門的な知識や技術は、外部機関をもって取得する以外に方法はなく、安心できる救急救助体制の確立をするには必要不可欠である。 ②消防の任務を遂行するため、消防の資機材整備と同様に職員研修による知識・技術・資格等の取得は必要不可欠であり、常に最新の技術や知識を修得するため、計画的に人材育成に取り組むこととする。また、今後数年間における消防職員の退職者増加も勘案しながら、不断の体制強化に努める必要がある。	4,098	
4	一般	9	1	3	234消防力の強化	消防車両更新事業(救急・救助車両)		○	○	①消防車両及び車両積載品の購入 ②鎌ヶ谷市消防本部車両更新計画に基づき更新しているが、救急件数の増加により車両走行距離が増えている傾向にあることから、今後の車両更新計画を見直す必要がある。	0	32,518	6精査・検証	①市民の安心安全のため継続していかなければならない。また、車両、積載資機材の検討を重ね職員の安全性及び有効的な活用を考慮した車両更新を実施する必要がある。 ②本市の地域実情に合った車両及び資機材を検討し、より迅速且つ的確な活動ができる車両を整備する。	38,353
5	一般	9	1	3	234消防力の強化	くぬぎ山消防署建替事業		○	○	①現行のくぬぎ山消防署庁舎を維持しながら、庁舎隣接地を購入し新庁舎を建設する。機能移転後は現行消防庁舎を解体撤去する。 ②災害対応に支障を来すことなく工事を進めていく必要がある。	25,598	27,139	6精査・検証	①市民ニーズの高い安全に暮らせる社会システムを実現するには、防災拠点となるくぬぎ山消防署の施設整備を早急に実施する必要があるため。 ②今年度中に新庁舎の建築を完了し、消防署機能を移転する。	223,048
6	一般	9	1	3	234消防力の強化	消防本部庁舎建替事業		○	○	①現行の消防本部庁舎を維持しながら、消防本部及び中央消防署敷地内に消防本部庁舎を建設し、機能移転後に現行消防庁舎を解体撤去する。 ②災害対応に支障を来すことなく、工事を進める必要がある。また、建替場所が住宅地に囲まれていることから、騒音や振動に対する近隣住民への配慮が必要である。	3,311	145,396	6精査・検証	①市民ニーズの高い安全に暮らせる社会システムを実現するには、災害活動拠点である消防本部庁舎の施設整備を早急に実施する必要があるため。 ②今年度中に新庁舎の建築を完了し、消防本部機能を移転する。	699,273